

「子ども電波教室」を各地で開催

北陸総合通信局（局長：吉武 洋一郎）、北陸情報通信協議会（会長：永原 功）及び情報通信月間推進協議会は、情報通信月間行事として、7月13日福井県池田町（池田町立池田中学校：17名参加）、7月17日金沢市（（財）金沢子ども科学財団：19名参加）においてそれぞれ子ども電波教室を開催しました。

子ども電波教室では、電波の性質や電波はどのような使われ方をしているかなど、電波の基礎知識のビデオ上映や電波実験、資料を用いて電波適正利用推進員が分かりやすく子どもたちに説明しました。

その後、子どもたちは半田ごてを使ってラジオを工作し、各自が作ったラジオでうまく放送を受信できるか試してもらい、身近に利用される電波について理解を深め、電波の利用ルールの大切さを学びました。

参加者からは、楽しいラジオ工作や電波実験で見たふしぎな電波の性質に関心が寄せられ、電波の興味がいっそう膨らんだとの声が聞かれました。

今後、富山県内では8月4日と8月7日、夏休み中には管内各地で電波教室の開催を予定しています。



（財）金沢子ども科学財団 電波実験



池田町立池田中学校 ラジオ工作実習

連絡先：無線通信部監視調査課

電話：076-233-4441